

編集後記

今月の肝胆膵画像の特集は、「肝細胞癌と鑑別を要する多血性腫瘍」である。多血性腫瘍の代表的なものは肝細胞癌や転移性肝癌、胆管細胞癌などの悪性腫瘍が多い。これらと良性多血性病変を鑑別することが、この特集号の大きな目的である。肝細胞癌と他の腫瘍との鑑別においては、背景に慢性肝疾患や肝炎ウイルスが存在するかどうかを鑑別の1つのきっかけとなる。本号では、CT、造影エコー、MRIでその鑑別へのアプローチが示されているが、取り分け2008年に発売されたEOBプリモビストによるOATP1B3(OATP8)の分子イメージングがこれらの鑑別において極めて有用であることが示されている。

FNHは従来、正常肝に発生する車軸状を有するものが特徴的であったが、FNH like lesionのようにアルコール性肝疾患に発生する場合も存在する。なかでも、OATP1B3を欠如するFNH-like lesionと肝細胞癌との鑑別は画像的には不可能と言わざるえない。いずれにしても、EOB-MRIの登場は肝画像診断の領域における鑑別診断能力を一気に進歩せしめた極めてエポックメイキングな出来事であった。今後このEOB-MRIを用いて、多くの症例が集積され、良性多血性病変が正しく診断されることが望まれる。

思い返してみれば2007年のソナゾイドの発売、2008年のEOBプリモビストの発売は肝画像診断において、大きなブレークスルーとなる検査法の登場であった。また、2009年には治療においてソラフェニブが登場し、肝癌の治療のパラダイムを変化させ得る可能性があるとして期待される。しかしながら最近の2010年、2011年、2012年には新たな肝癌に対するエポックメイキングな薬剤は診断薬、治療薬ともに登場していない。いわば、この期間は上記の新しい診断と治療の薬剤の有用性と限界を検証する期間であったと言える。2013年には、ドラスティックではないにしても、CTやMRI、超音波装置の進歩が期待されている。また、ソラフェニブ以外の新たな分子標的薬の登場も期待されている。肝疾患領域、肝腫瘍性疾患領域においてこれら診断・治療の新しいモダリティが診療の場に早く登場し肝腫瘍の診療がさらに進歩することを願ってやまない。

(工藤正俊)

編集顧問

編集幹事

編集委員

有山 襄	竹原 靖明	望月 福治
二村 雄次		
角谷 眞澄	神澤 輝実	工藤 正俊
國土 典宏	棚野 正人	真口 宏介
山雄 健次		
朝倉 徹	跡見 裕	猪狩 功遺
石川 洋子	市川 智章	伊東 克能
乾 和郎	今井 裕	植木 敏晴
太田 哲生	岡崎 和一	梶原 建熙
兼松 雅之	川崎 誠治	蒲田 敏文
鬼島 宏	木下 壽文	木村 理
熊田 卓	小井戸一光	坂元 亨宇
佐々木 洋	下瀬川 徹	須山 正文
高安 賢一	高山 忠利	竹内 和男
武田 和憲	田中 雅夫	土井隆一郎
長川 達哉	信川 文誠	長谷部 修
廣橋 伸治	本田 浩	眞栄城兼清
前谷 容	松井 修	村上 卓道
森 宣	森安 史典	柳澤 昭夫
山下 康行	山野 三紀	竜 崇正
渡辺 五朗		(五十音順)

掲載広告索引

(五十音順)

アストラゼネカ(株)	444
エーザイ(株)	表2
オリンパスメディカルシステムズ(株)	381
大日本住友製薬(株)	表4
東芝メディカルシステムズ(株)	表3
ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)	394

肝胆膵画像(第14巻第5号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03)3817-5714 (担当)藤田・能藤

FAX (03)3815-7802・3815-7982

E-mail: gazo@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kantansui/

2012年7月15日発行(隔月15日発行)

定価 4,095円(本体3,900円+税5%)

2012年年間購読料(送料弊社負担、税込み、増刊号を含む7冊)

冊子版 27,630円

電子版/個人 27,630円 電子版/共有 31,800円

冊子+電子版/個人 30,630円 冊子+電子版/共有 34,800円

☎ 販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 (株)アイワード ☎(011)241-9341(代)

広告取扱 (株)文京メディカル ☎(03)3817-8036(代)

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. ©2012, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有いたします。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY <(株)出版者著作権管理機構 委託出版物>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。